

討 論

【27年度一般会計予算】

賛成 自由民主党議員会

今後の人口減少社会に対応し、将来にわたり持続的に発展できるまちを築くため、将来の人口構造の変化に対応したネットワーク型コンパクトシティの形成に資する事業が優先的・重点的に計上されており、そのための自主財源の積極的な確保や資産の適正管理など、行政改革の徹底を図った予算案である。市長の強い決意と積極性が十分に感じられ、財政健全化に配慮し、地域経済の力強い回復を支えていく予算であると高く評価する。

市長には、地方創生に向けその強力なリーダーシップのもと、これらの推進に全力で取り組んでいただくよう期待し、原案に賛成する。

反対 市民連合

市独自の保育料の軽減拡大、ひとり親家庭の自

立支援制度の拡充など、喫緊の課題に対する対応としては、一定の評価をするが、LRT整備推進費11億5,231万円余のうち、測量・軌道詳細設計業務委託料10億6,496万円余については、事業の進め方や市民合意の取り方など、議会判断として適切とは言えない事業プロセスで進められていることなどから、原案に反対する。

【27年度一般会計、国保、介護の各予算及び「新教育長の設置に伴う議案」】

反対 日本共産党

27年度予算では、LRT事業を一日も早く白紙に戻して検討し直すこと、子ども・子育て支援新制度は、保育の質の担保が不十分であり、認可保育園で保育すべきこと、また、国民健康保険税を引き下げ、介護保険料を引き上げないなど、福祉や暮らしの充実を願う市民の声を施策に反映すべきことから、原案に反対する。

また、教育委員会委員長と教育長を一本化した「新」教育長は、首長が直接任命し、教育への政治介入のような戦前の教育体制となる危険性があることなどから、原案に反対する。

反対 統一会派

フォーラム・みんな

基金の繰入を前提とした予算編成は、避けるべきであるにもかかわらず20億円もの財政調整基金が取り崩されることや、臨時財政対策債の発行は極力避けるべきであること、11億5千万円を超える多額のLRT整備計画の費用が計上されているが、市民の総意を把握することなく民意不在の計画となっていることなどから、原案に反対する。

【議員案】

賛成 日本共産党

議員案第1号は、こども医療費の助成対象者が小学生までなのは、県内

では市のみで、対象拡大のため新たに必要な財源は、県の制度変更に伴う補助金を勘案すれば約6千万円であり、十分に実現可能であることや、議員案第2号は、26年1月の住民投票条例否決に対する説明責任が不十分であり、本気で必要と思えば、住民投票を通じてビジョンを共有すべきと考えるため、原案に賛成する。

反対 環境と健康を守る会

議員案第2号については、LRTの導入については、先の市長選の争点の一つとなっていたことや、若い世代ほどLRT導入に賛成であるが、10代の声を反映させるには、住民投票では十分でないこと、まちづくりにおいては、様々な世代の市民の声を反映させることが重要であるため、二元代表制のもとで議会が若者世代も含めた住民の声を聴き、判断すべきことなどから、原案に反対する。

賛成 未来への架け橋

議員案第2号について

26年1月の住民投票条例が否決され、その後事業費を1.6倍に増額し、市民の多くは不信感を抱いている。当初の目的の交通渋滞から、中心市街地活性化や基幹交通のためなど、目的が変わりつつあり、郡部の市民は、中心街に行くのも公共交通に恵まれていない。また、市債償還の負担を考慮した時、市民の意思を確認するべきと考えることなどから、原案に賛成する。

市議会議場を見学してみませんか



市議会では、市民の皆さんに議会への理解と関心を高めてもらうため、親子や小中学校、各種団体などの議場見学を随時行っています。希望される方は、市議会ホームページの申込書に記入のうえ、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局総務課 電話 (632) 2611

表紙写真について

宇都宮市では、「宮っこ子育てコンシェル」や「親子の健康・栄養相談」など子育ての相談や赤ちゃんの健やかな成長をサポートする取り組みを行っています。「子育てサロン」や、図書館で開催される「おはなし会」・「あかちゃんタイム」など、親子で楽しく参加できる事業を開催しておりますので、ぜひ親子でお出掛けください。

また27年度から、1歳6か月を迎える幼児のいる家庭に宇都宮産のお米を配布する「うつのみやはじめてごはん事業」を開始予定です。

各事業については、「宮っこ子育て応援ナビ」などでご確認ください。

宮っこ子育て応援ナビURL <http://www.miyakosodate.jp/>